

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成19年7月19日(2007.7.19)

【公開番号】特開2006-45301(P2006-45301A)

【公開日】平成18年2月16日(2006.2.16)

【年通号数】公開・登録公報2006-007

【出願番号】特願2004-226530(P2004-226530)

【国際特許分類】

C 0 9 C 1/48 (2006.01)

C 0 8 K 9/02 (2006.01)

C 0 8 L 21/00 (2006.01)

C 0 9 C 3/06 (2006.01)

【F I】

C 0 9 C 1/48

C 0 8 K 9/02

C 0 8 L 21/00

C 0 9 C 3/06

【手続補正書】

【提出日】平成19年6月6日(2007.6.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0022】

シリカの反応効率について

表1から明らかなように、冷却水または原料油にシリカゾルを添加した場合のシリカの反応率 = (灰分 / 計算シリカ量) × 100 は 92 ~ 98 % であり比較例2の揮発性ケイ素含有化合物の場合と比較してほぼ同等である。しかしながら、本発明で開示したシリカゾルは比較例2の揮発性ケイ素含有化合物と比較して廉価であることから、本発明により低価格でシリカ処理カーボンブラックを提供することが可能である。